

2023年3月期 決算説明会資料



不二ラテックス株式会社

2023年3月期 決算概況

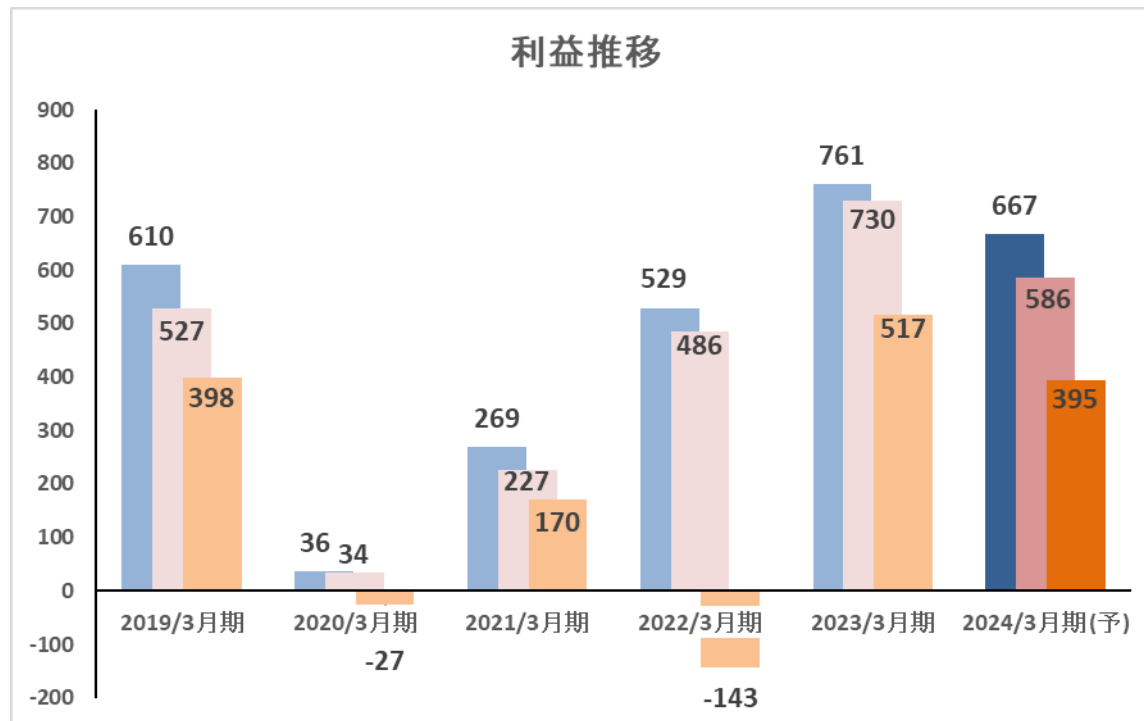
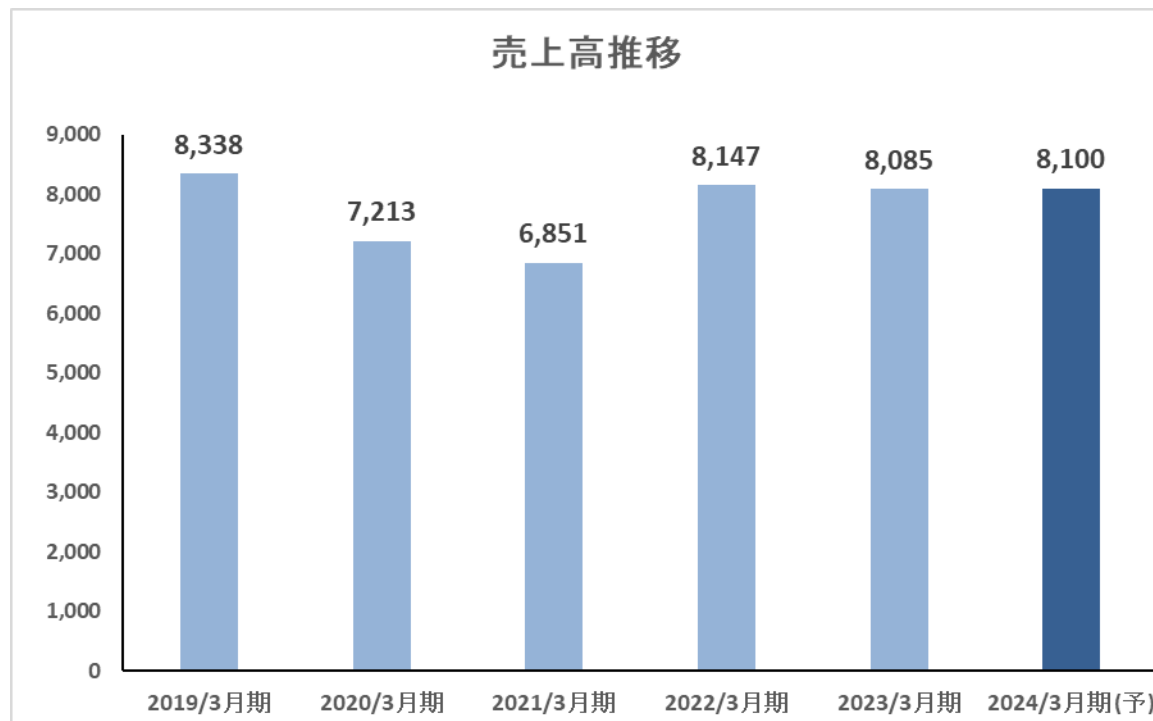
管理本部 本部長

金 原 辰 弥

売上高・利益推移

- 売上は2年連続で80億円台を計上、今期(24年3月期)も同水準の予想
- 営業利益、経常利益は4年連続で増益、親会社株主に帰属する当期純利益は29年ぶりの5億円台に

単位: 百万円



■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益

注: 数字単位未満は四捨五入処理

2023年3月期 業績の概況

- 精密機器事業を除く全セグメントで増収。精密機器事業は前々期(2022年3月期)の過去最高売上からの反動減となり、全社売上では前年比-0.8%とほぼ横這い
- 原材料価格高騰の影響は生産効率化と価格転嫁等で概ね吸収し、原価率は改善
- 販管費のコントロールや主に有利子負債削減による営業外収支改善が寄与し、営業利益及び経常利益はともに前年比大幅増益
- 資産の評価減等による大口特損計上もなく、当期純利益は29年ぶりに5億円台に

〔単位:百万円〕

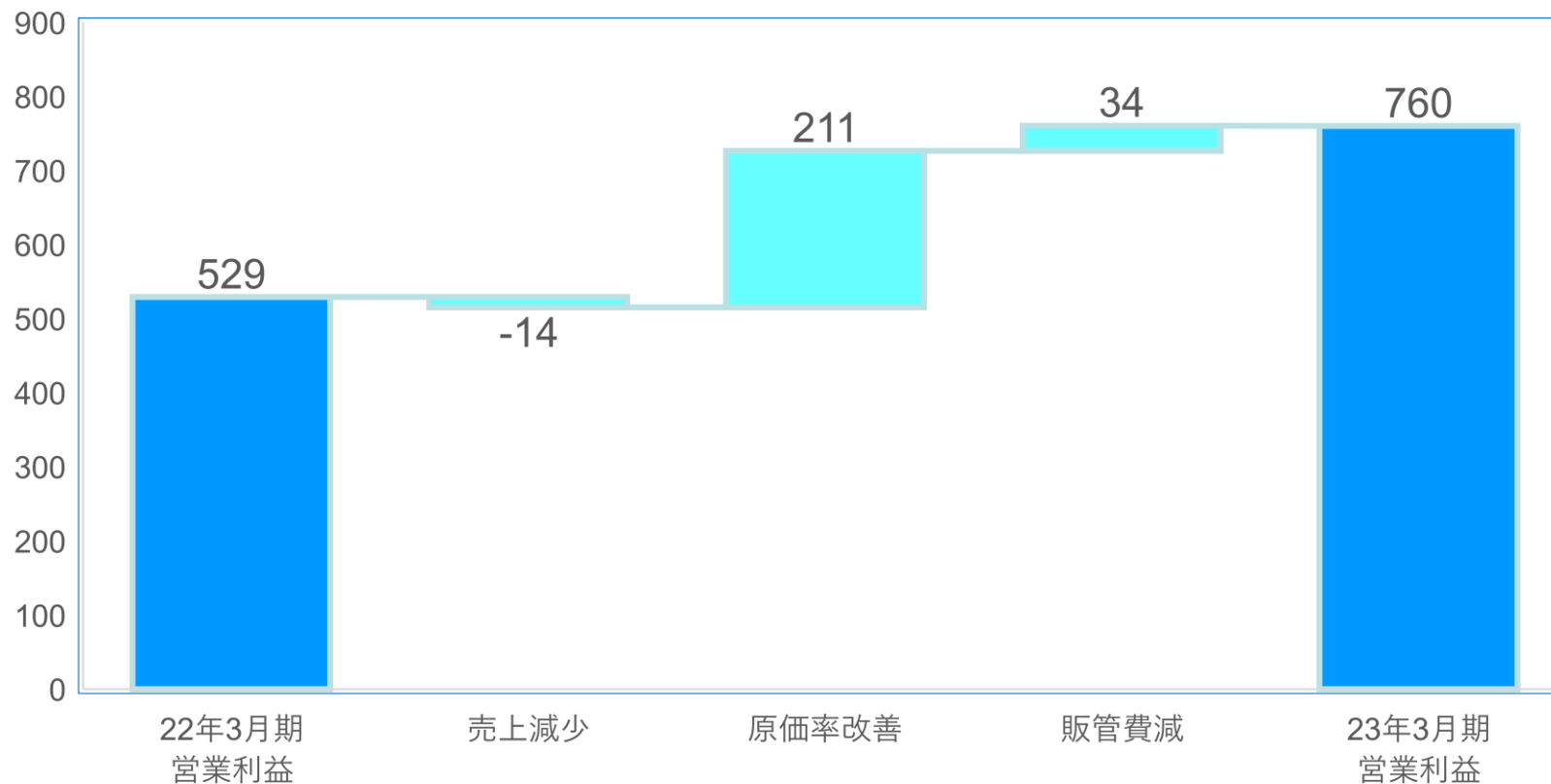
	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期			
	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率	計画比増減率	前年比増減率
売上高	6,850	100.0%	8,147	100.0%	8,085	100.0%	-0.2%	-0.8%
売上総利益	1,536	22.4%	1,823	22.4%	2,020	25.0%	-	10.8%
営業利益	269	3.9%	529	6.5%	760	9.4%	8.7%	43.8%
経常利益	226	3.3%	486	6.0%	730	9.0%	8.1%	50.1%
当期純利益	170	2.5%	△142	-1.8%	517	6.4%	11.3%	-

計画比: 2023年2月7日発表「通期修正業績予想」比

2023年3月期営業利益増減(前年度差)

- ・売上減に伴う営業利益減 $\Delta 14$ 百万円
 - ・原価率変動に伴う営業利益増 $+211$ 百万円
 - ・販管費減に伴う営業利益増 $+34$ 百万円
- により231百万円の営業利益増

単位:百万円



事業セグメント別 売上高・セグメント利益

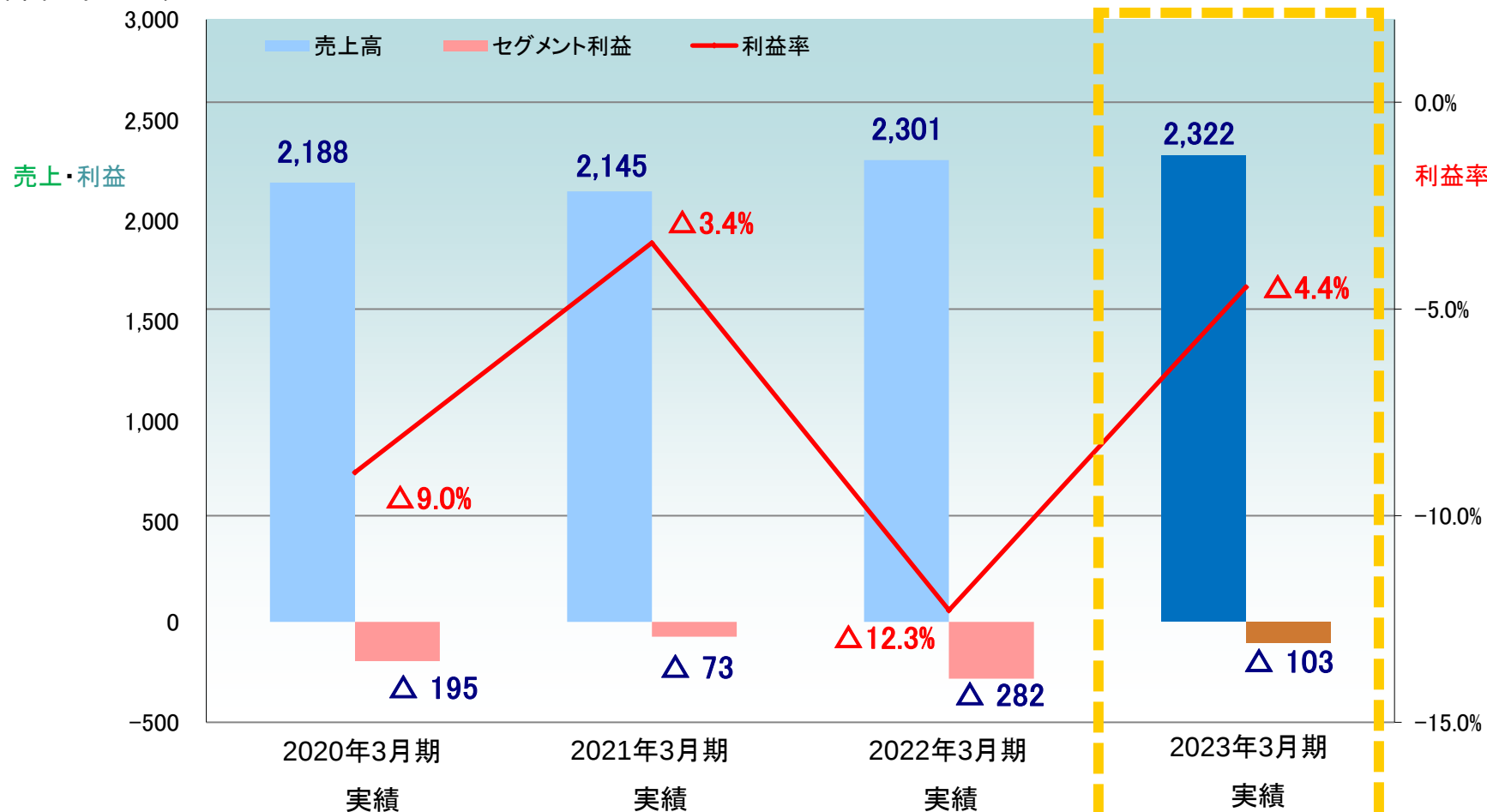
〔単位：百万円〕

事業セグメント		2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比 増減
医療機器事業	売上高	2,145	2,301	2,322	21
	セグメント利益	△73	△282	△103	179
精密機器事業	売上高	4,200	5,316	5,111	-205
	セグメント利益	731	1,259	1,223	-36
SP事業	売上高	310	330	414	84
	セグメント利益	△29	△7	16	24
食品容器事業	売上高	194	199	237	38
	セグメント利益	76	14	69	54
連結合計	売上高	6,850	8,147	8,085	-61
	セグメント利益	269	529	760	231

医療機器事業 売上高・セグメント利益

医療機器事業

〔単位：百万円〕



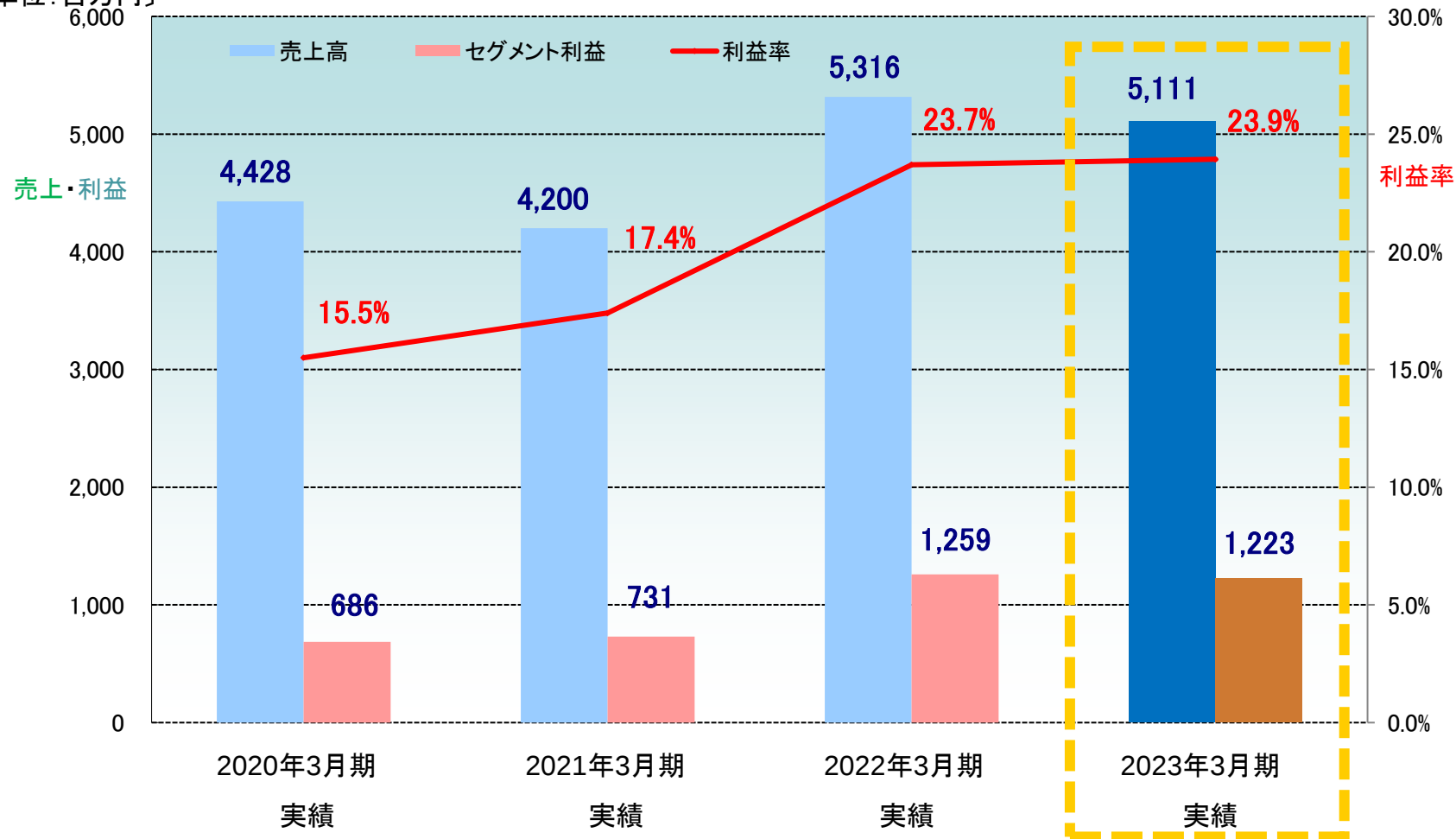
医療機器事業について

- 売上高は前期比0.9%増収、セグメント利益は△103百万円の損失だが、不採算製品の見直し、販売費節減に加えて、在庫評価減の戻し入れ要因等もあり、前期比で179百万円の赤字幅縮小
- ヘルスケア部門は国内市場で-0.3%の減収、海外市場は-8.8%の減収
メディカル部門は大手メーカー向けの部品が好調に推移し、4.5%の増収
- 新素材コンドーム「SKYN」の売上が好調であり、部門売上を牽引するも急激な円安に伴い採算は低下
- コンドームの生産計画見直しによる影響解消に向けた取組みを継続

精密機器事業 売上高・セグメント利益

精密機器事業

〔単位：百万円〕



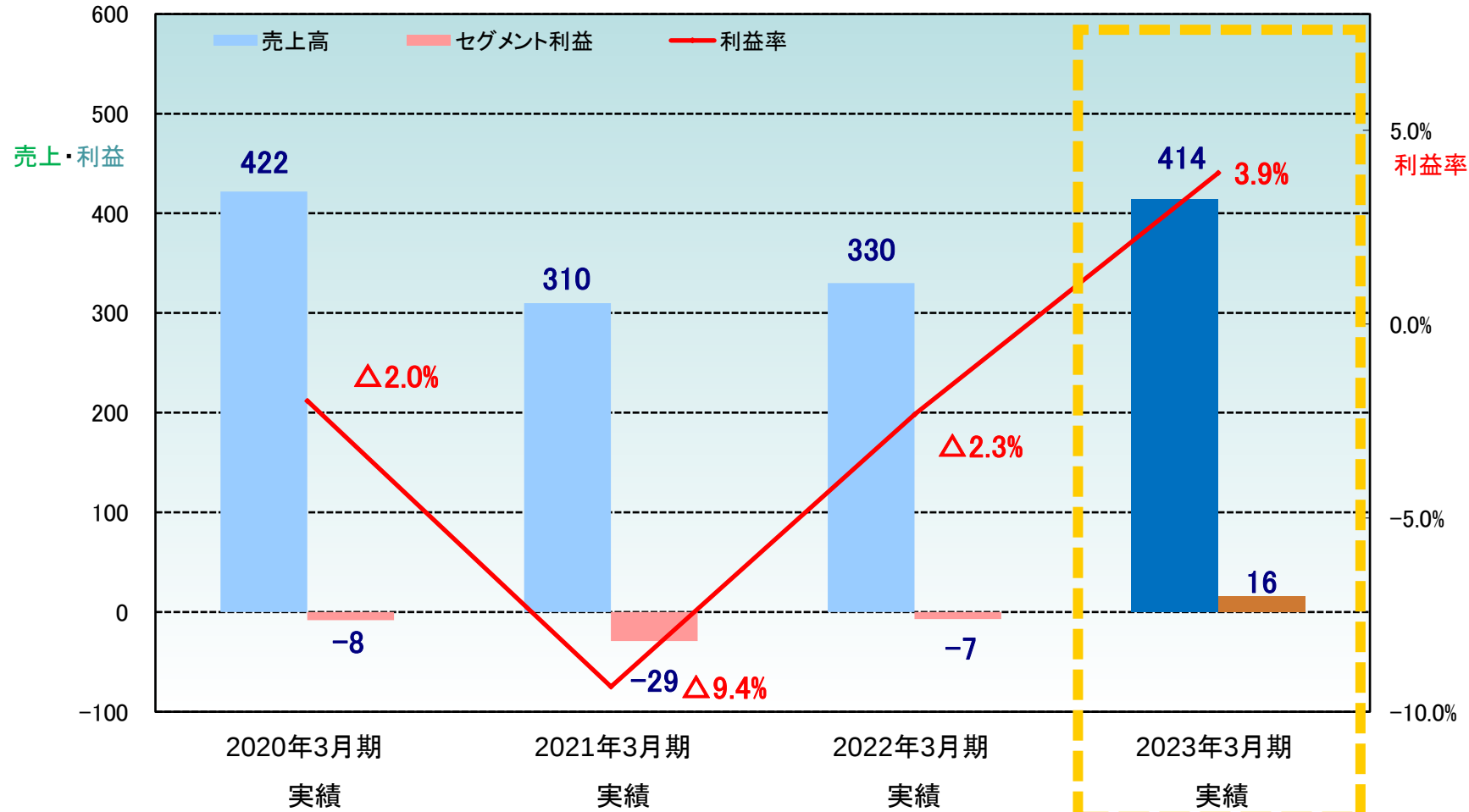
精密機器事業について

- 売上高は前期比-3.9%減収、セグメント利益は-2.9%減益
- 部材高騰や供給制約などの影響を受けながらも、売上高や利益が過去最高水準であった2022年3月期からの反動減を抑制し、健闘
- 欧州をはじめとする海外市場の景気減速を受けて、年度後半から受注減少傾向となったものの、高水準の受注残に対応し、年間を通じて概ね好調に推移
- 部材高騰は原価削減への取組みと価格転嫁により吸収、供給制約の問題は概ね解消に向かっている
- 人員の適正配置や工数削減による製造経費削減、販売費削減への継続的な取組みに加えて、低利益率製品の売上構成比を低下させたことも利益率改善の要因

SP事業 売上高・セグメント利益

SP事業

[単位:百万円]



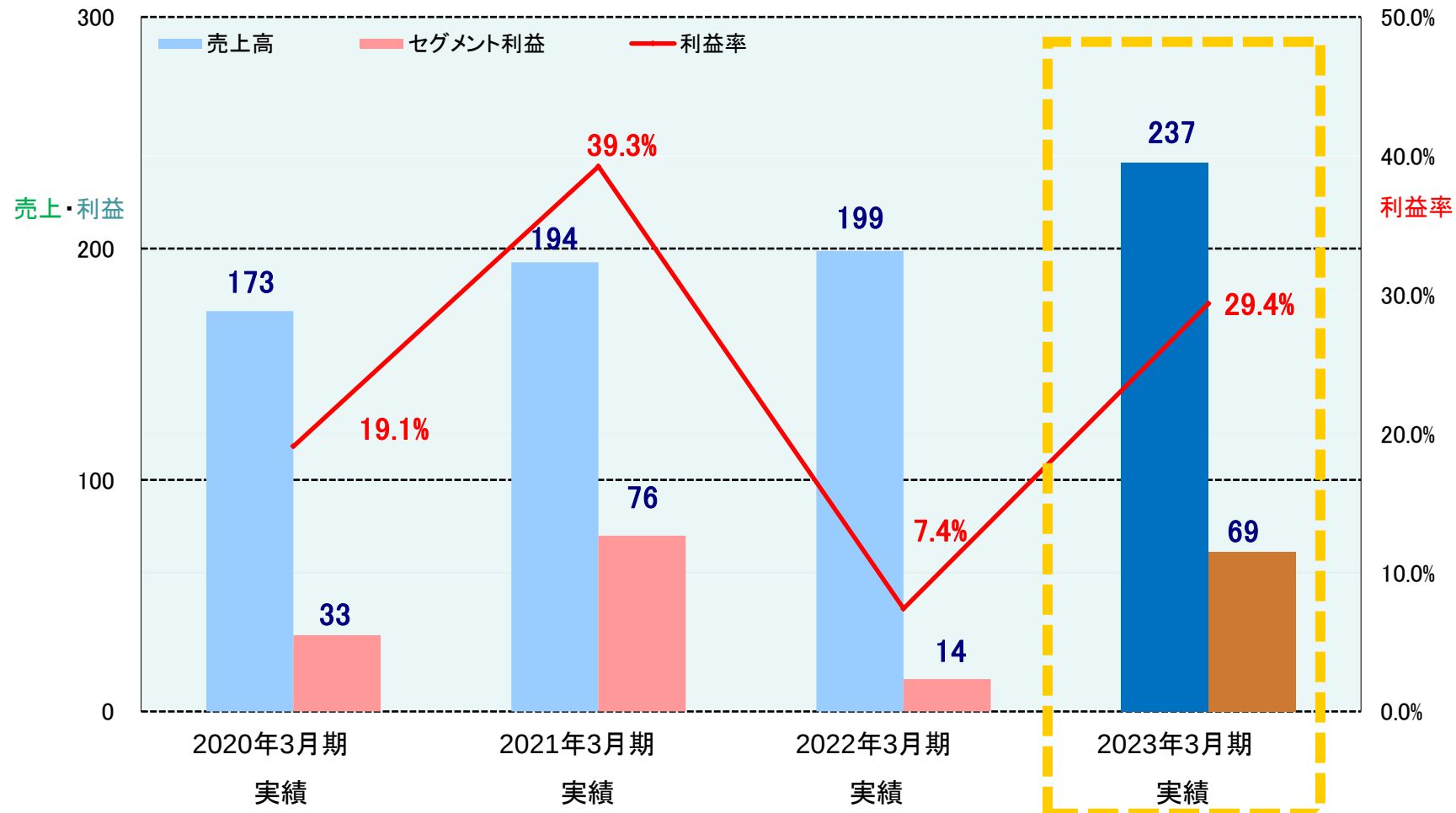
SP事業について

- 売上高は前期比25.4%の増収、セグメント利益は黒字化し回復基調
- 新型コロナウイルスによる行動制限が前年に解除され、年間を通して事業環境の大きな制約がなかった
- 屋外イベントの需要低迷と商材に係る海外物流停滞の影響は若干残るものの、主力販売先に対する企画商品の販売が好調に推移
- セグメント利益は前期比で24百万円改善、安定的な黒字計上へ

食品容器事業 売上高・セグメント利益

食品容器事業

[単位:百万円]



食品容器事業について

- 売上高は前期比19.1%増収、セグメント利益は372.9%の増益
- 主力販売先向けの売上が好調に推移したことに加え、販売単価の値上げ効果が寄与
- 更なる生産効率化のため、設備更新等を検討中

2023年3月期 貸借対照表

- 固定資産の減価償却が進み資産は減少、最終利益の増加等により純資産が増加し、自己資本比率は5.0%上昇

〔単位:百万円〕

	21/3	22/3	23/3	22/3比 増 減
流 動 資 産 合 計	6,131	6,307	6,252	-54
固 定 資 産 合 計	6,303	5,489	5,214	-275
資 産 合 計	12,437	11,807	11,474	-332
負 債 合 計	9,132	8,709	7,897	-811
純 資 産 合 計	3,304	3,098	3,576	+478
負 債 純 資 産 合 計	12,437	11,807	11,474	-332

2023年3月期キャッシュ・フローの状況

- 利益増と減価償却及び減損減少の影響が相殺され、FCFは減少
有利子負債の削減は継続

〔単位:百万円〕	21/3	22/3	23/3	22/3比 増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	705	1,189	771	-418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111	△151	△75	+76
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	594	1,037	696	-341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△450	△802	△675	127
現金及び現金同等物期末残高	1,320	1,575	1,608	+32

主な指標推移

〔単位:百万円〕

指 標	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3 (計画)
設備投資額	2,750	337	80	142	79	748
減価償却費	391	493	476	470	352	372
研究開発費	278	262	211	206	195	200
有利子負債	7,712	7,621	7,274	6,371	5,755	6,263
従業員数 (パート含) 〔人〕	389	374	361	357	347	347

2024年3月期 計画と経営戦略

代表取締役社長
近 藤 安 弘

第5次中期経営計画

基本方針：事業成長性の追求

ものづくりを極め、各事業分野でオンリーワンの存在となる

(単位 百万円) ＜連結＞	2023年 3月期 実績	第5次新中期経営計画		
		2024年 3月期 予想	2025年 3月期 計画	2026年 3月期 計画
売上高	8,085	8,100	8,400	8,900
営業利益	760	667	840	1,070
営業利益率	9.4%	8.2%	10%	12%
海外売上高比率	12.6%	15%	17%	17%

第76期 会社方針

第76期 会社方針(2023年4月～2024年3月)

- A. ものづくり力と収益力の強化
- B. 新しい社会規範(SDGs)への対応
- C. 人材育成とデジタル化の推進

売上計画 : 8,100百万円

営業利益 : 667百万円

2024年3月期業績見通し（連結）

(単位 百万円)	2024年3月期 計画			上期		下期	
	金額	売上高割合	対前年増減率	金額	売上高割合	金額	売上高割合
売上高	8,100	100%	0.2%	3,900	100%	4,200	100%
営業利益	667	8.2%	-12.3%	247	6.3%	420	10.0%
経常利益	586	7.2%	-19.7%	237	6.1%	349	8.3%
当期純利益	395	4.9%	-23.6%	165	4.2%	230	5.5%

セグメント別実績・計画（個別）

〔単位：百万円、％〕

	売 上 高				セグメント利 益			
	2023/3 実 績	2024/3 計 画	増 減	増 減 率	2023/3 実 績	2024/3 計 画	増 減	増 減 率
医療機器	2,252	2,459	207	9.2%	△119	98	217	－
精密機器	5,077	4,900	△177	－3.5%	1,223	980	△243	－19.8%
S P	414	450	36	8.6%	16	32	16	95.9%
食品容器	237	260	23	9.6%	69	76	7	9.0%
合 計	7,981	8,060	79	1.0%	1,189	1,186	－3	－0.2%

- コンドームは生産工程見直し改善中
- バースコントロール製品群の販売好調
- メディカル部門プローブカバー類の販売好調

＜カテゴリ別状況＞

- ・天然ゴムコンドーム：価格訴求品の販売停止により売上低下
- ・ポリイソプレンコンドーム「SKYN」：ブランド認知が進み過去最高売上高
- ・体外診断薬：EC販売中心に過去2番目の売上高
- ・プローブカバー：アレルギーフリー対応製品過去最高売上高

- 生産性向上活動の推進
- 高利益製品群のシェア拡大
- 効率生産による環境対応

＜カテゴリ別活動＞

- ・天然ゴムコンドーム : 減産、工程見直し、生産性向上推進
- ・SKYNブランド : ブランド認知度向上に注力、シェア拡大
- ・体外診断薬 : 品目拡充し、シェア拡大
- ・プローブカバー : 営業体制増強、増産、シェア拡大

■現状

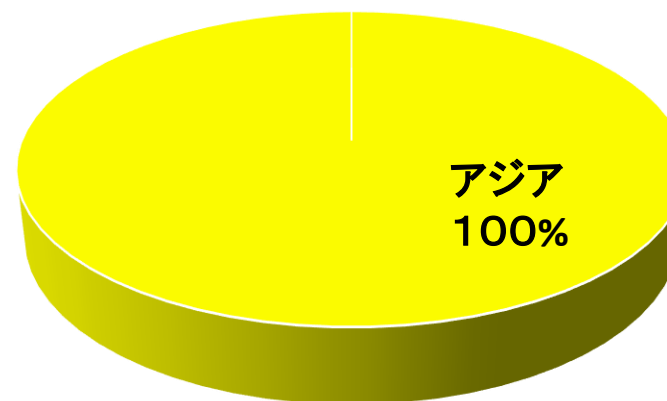
- ・薄型コンドーム
アジア市場に浸透
- ・アジア製の薄型コンドーム
競合製品として市場に進出



■戦略

- ・現地有力ブランドとの協働を図り、販売数量拡大を推進。

2023年3月期 地域別売上構成比率







＼自宅で簡単検査／
WO+MAN CHECK LH
排卵日予測検査薬
ウー・マン チェック LH



ウー・マン チェック
WO+MAN CHECK 妊娠検査薬
1回用

初めての方でも簡単チェック! ONE-STEP PREGNANCY TEST

- Check.1 99%以上の正確さ
- Check.2 約1分から判定可能
- Check.3 1日中いつでも検査可能

99%以上の正確さ



さるぼぼ
×
WO+MAN CHECK
ベビ待ちさん
応援コラボ

3回用
さるぼぼ
妊娠検査薬

99%以上の正確さ
約1分から判定可能
わかりやすい表示



「さるぼぼ」とは?

「さるぼぼ」は飛騨高山地方の方言で、「さるの赤ちゃん」を意味する民芸品の人形です。「厄がサル(去る)」という語呂あわせで魔よけの「お守り」として受け継がれてきました。



○Fujilatte

エアコンに頼らない「エコな安眠」をサポート



ソフトなのに寝心地しっかり！
暑い夏にピッタリの安眠サポートまくら

プローブカバー新包装形態



- ・取り出しやすいブリスターパックへ全面リニューアル
- ・管理医療機器クラスⅡ

FD-1(子宮内避妊用具)



- ・EVA製品;ガンマ線滅菌品(単回使用)
- ・管理医療機器クラスⅢ

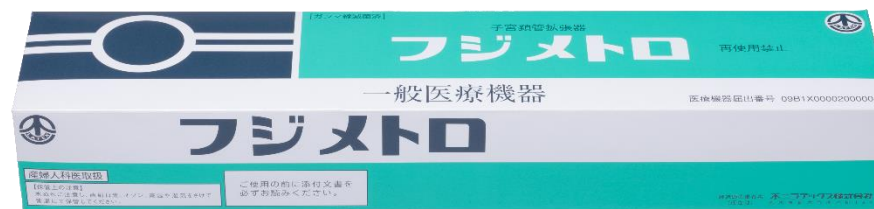
子宮頸管拡張器



・オバタメトロ



・フジメトロ



- ・天然ゴム製品;ガンマ線滅菌品(単回使用)
- ・一般医療機器クラスⅠ

SP事業の現状と戦略

■現状

- ・消費者行動が徐々に回復
- ・テーマパーク、量販店での販売促進方法の変化
- ・原材料高騰の影響を受け、コスト高傾向顕著

■戦略

- ・アフターコロナに対応した商品群開発と新規提案



食品容器事業の現状と戦略

■現状

- ・国内オンリーワンメーカー
- ・国内お土産市場が活性化
- ・原材料、エネルギー高騰による利益圧迫要因顕著



■戦略

- ・耐熱性・耐油性を改善し、食品全般に対応
- ・食品用以外での用途拡大

精密機器事業(国内)の現状

- 部材調達難に直面したが、年度後半に向けて徐々に解消
- 原材料高騰による原価上昇
- WEBによる非対面と、リアルによる提案営業を推進
(デジタルマーケティング戦略)

主要市場

- 住宅設備：小型樹脂ダンパー
- 電気製品：回転型ダンパー・小型樹脂ダンパー
- 生活用品：回転型ダンパー
- 産業機器：金属直線ダンパー



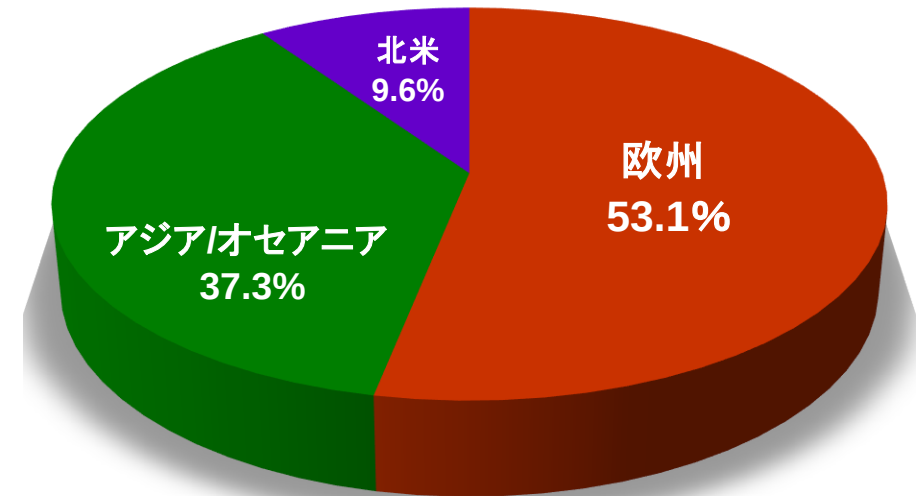
精密機器事業（国内）の戦略と活動

- 高付加価値新製品開発の推進
- 生産性向上活動の推進、QCDの強化
（工程改善、各種管理精度向上）
- SDGs社会に向けた文書・記録類の電子化
- 体系的教育システムの確立と運用
- サプライチェーンの見直し及び再構築

精密機器事業(海外)の戦略

- 欧州はコロナ禍からの経済復活需要と、
経済不況による需要減
- ドイツ代表事務所を活用した欧州新規顧客の獲得
- 欧州新規代理店網の拡販
- 工業分野での製品拡販

2023年3月期
地域別売上構成比率



精密機器事業 取扱製品



新製品 FNJシリーズ

FNJ 固定式ショックアブソーバに新シリーズ登場

- 外観ステンレス仕様
- 食品機械用潤滑油採用
- 耐久性の向上



不動王シリーズ



オンライン化への対応力強化を継続

ショックアブソーバに続き、
ガススプリング、ロータリーダンパーの選定ツールを追加。

オンラインを活用した非対面営業ツールを拡充



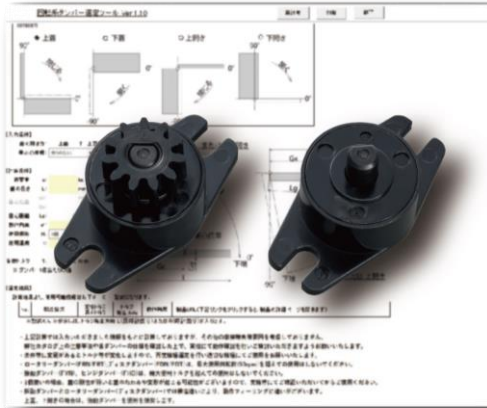
WEB サイト
機種選定ツール拡充

オンライン商談

オンライン商談をスケールアップし、オンライン展示会にも対応。

製品資料と便利なツール

選定ツールも追加・拡充実施中



取扱説明書



ホーム > 緩衝器TOP > 取扱説明書

さらに絞り込む

ショックアブソーバ

ガススプリング

ヘリカル防振器

不動王



ショックアブソーバ
FA/FWM/FK/FED

製品ページはこちら

ショック
シリー

パンフレットダウンロード



ホーム > 緩衝器TOP > パンフレットダウンロード

新・ショックアブソーバ
FNJ シリーズ

本体ステンレス仕様
食品機械用潤滑油採用
耐久性向上

FK + FNJ

新・ショックアブソーバ FNJシリーズ

製品ページはこちら

NEW RELEASE!
大型非常停止用ストッパー
FES-4275 series

堅性実形
サイズがコンパクト
オイル漏れなし

FES-4275

製品ページはこちら

MRFダンパー
FMR-70S-403
Evolution
Magneto rheological Fluid
MRF Damper

不二フアックス株式会社

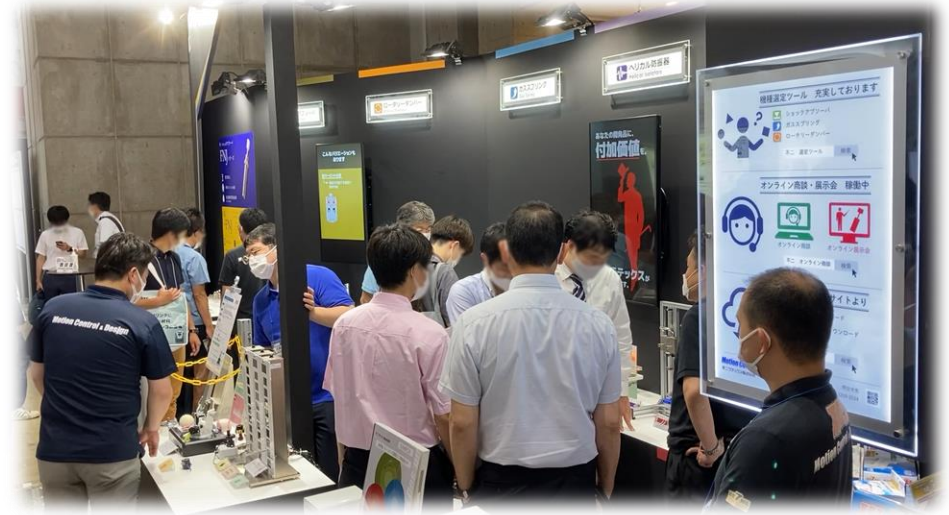
MRFダンパー

製品ページはこちら

Afterコロナを見据えた活動

第27回 機械要素技術展出展風景

- ・開催日：2022年6月22日～24日
- ・開催場所：東京ビッグサイト



目標とする経営指標(連結)

財務指標	2021/3 実績	2022/3 実績	2023/3 実績	2024/3 計画
自己資本比率	26.6%	26.2%	31.2%	30%台
ROE (自己資本当期純利益率)	5.3%	-4.5%	15.5%	10.9%
ROA (総資産当期純利益率)	1.4%	-1.2%	4.4%	3.3%
ROA (総資産経常利益率)	1.8%	4.0%	6.3%	5.0%

IR担当窓口

連絡先： 不二ラテックス株式会社

社長室広報課 石川 雄介

Tel 03-3259-2536 Fax 03-3293-5683



このプレゼンテーション資料は、2023年6月1日現在、弊社が入手可能な情報と独自の予測・判断に基づいて作成したものです。従いまして確実性を保証するものではなく、弊社を取巻く事業環境の変化によっては将来見通しに差異が生じる場合がございます。以上ご理解いただきますようお願い申し上げます。